

5. 在宅医療における夜間休日臨時対応について、あなたのお考えをお聞かせください。

問3 3. 家庭医制度の根付いているオランダなどでは、地域の家庭医が輪番制をとり、夜間休日の外来及び往診の体制を整えています。あなたの働く地域で、将来機関・法人を越えた地域単位の夜間休日の往診体制を整えることができますか？

1. 既にやっている 2. できると思う
3. 条件を整えばできると思う 4. どうやってもできないと思う

→問3 3-1. どんな条件が整うとよいと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 病院勤務の若手医師等が非常勤で輪番に加わってくれる
2. 行政による補助金が整備される 3. 診療報酬による誘導が行われる
4. 医師に連絡が入る前段で看護師等による一次対応(病棟におけるナースコール対応のようなこと)が行われる
5. 主治医ではない医師が対応することについて患者(市民)の納得が得られる
6. 郡市医師会長が体制整備を訴え促す
7. 市町村長が首長として体制整備を訴え促す
8. その他()

問3 3-1-1. 上記のうち、特に重要と思う番号をお書きください。()

→問3 3-2. できないと思う理由を教えてください。

()

6. ここからはご自身の近況や仕事に対する考えなどについて伺います。

問3 4. 仕事に関する以下の質問に対して、あなたの考えに最もあてはまる数字に○をつけて下さい。(各質問に対して○は1つ)

	全く違う	違う	そうである	全くそうである
1) 新しいことを覚えることが必要な仕事だ。	1	2	3	4
2) くり返しの作業がたくさんある仕事だ。	1	2	3	4
3) 創造性が必要な仕事だ。	1	2	3	4
4) 自分自身でどのように仕事をするか決めることができる。	1	2	3	4
5) たくさんの技術や知識が必要な仕事だ。	1	2	3	4
6) どのように仕事をすすめるか決める自由は、私にはほとんどない。	1	2	3	4
7) 仕事の中で、何種類も別々のことをする機会がある。	1	2	3	4
8) 自分の仕事の予定を決めることができる。	1	2	3	4
9) 自分自身の特別な才能をのばす機会がある。	1	2	3	4
10) とても速く働くことが必要な仕事だ。	1	2	3	4
11) とても一生懸命に働くことが必要な仕事だ。	1	2	3	4
12) あまりに多すぎる仕事を頼まれることはない。	1	2	3	4
13) 仕事をやり終えるのに十分な時間が与えられている。	1	2	3	4
14) 他の人達からお互いにくい違う指示を出されて困ることはない。	1	2	3	4

問3 5. 仕事と家庭に対する以下の各質問に対して、最もあてはまる数字に○をつけて下さい。(各質問に対して○は1つ)

	全くあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらでもない	そのとおりである	全くそのとおりである
1) 自分が家族と過ごしたい時間を、思っている以上に仕事にとられる。	1	2	3	4	5
2) 仕事に時間が取られるため、仕事と同様に家庭での責任や家事をする時間が取りにくい。	1	2	3	4	5
3) 職務を果たすのに多くの時間を使うため、家族との活動ができないことがある。	1	2	3	4	5
4) 家族としての責任に時間を費やすために、自分の職務が妨げられることがよくある。	1	2	3	4	5
5) 家族と時間を過ごすために、自分のキャリアアップに役立つ職場での活動に時間をかけられないことがよくある。	1	2	3	4	5
6) 家族としての責任を果たすために多くの時間を使うので、仕事の活動が犠牲になっている。	1	2	3	4	5
7) 仕事から帰った時、くたくたに疲れていて、家族といろいろなことをしたり、家族としての責任が果たせないことがよくある。	1	2	3	4	5
8) 仕事から帰った時、精神的に疲れ切っていて、家族のために何もすることが出来ないことがよくある。	1	2	3	4	5
9) 職場でのストレスのために、家に帰っても自分が好きなことさえ出来ないことがある。	1	2	3	4	5
10) 家庭でのストレスのために、職場でも家族のことが頭を離れないことがよくある。	1	2	3	4	5
11) 家庭での責任からくるストレスがよくあるので、仕事に集中するのが難しいことがある。	1	2	3	4	5
12) 家庭生活の緊張と不安のため、往々にして仕事をする能力が低下してしまう。	1	2	3	4	5
13) 仕事の際に使う問題解決行動は、家庭での問題解決には効果的でない。	1	2	3	4	5
14) 職場で、有効かつ必要な態度や行動は、家庭ではむしろ逆効果だろう。	1	2	3	4	5
15) 職場では効果的な行動は、良い親や配偶者となるには役に立たない。	1	2	3	4	5
16) 家庭ではうまくいく行動が、職場では効果的でないように思う。	1	2	3	4	5
17) 家庭では有効かつ必要な態度や行動は、職場ではむしろ逆効果だろう。	1	2	3	4	5
18) 家庭で、問題をうまく解決する行動は、職場では有用でないように思う。	1	2	3	4	5

問36. 仕事や現在の夜間休日臨時対応体制の今後についてどのように考えているか教えてください。(各質問に対して○は1つ)

	全くあてはまらない	あまりあてはまらない	多少あてはまらない	多少あてはまる	全くあてはまる
1) 現在の仕事について満足している	1	2	3	4	5
2) 現在の仕事をそのまま続けたいと思う	1	2	3	4	5
3) 現在の夜間休日の臨時対応体制を続けたいと思う	1	2	3	4	5
4) 現在の夜間休日の臨時対応体制を継続することは可能だと思う	1	2	3	4	5
5) 夜間休日の臨時対応により翌日以降の業務に悪影響を与える	1	2	3	4	5
6) 私の仕事は身体的に負担が大きい	1	2	3	4	5
7) 私の仕事は精神的に負担が大きい	1	2	3	4	5

問37. 近ごろ次のような症状がありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. このごろ全身がだるい	2. 腰が重い
3. 目が疲れる	4. よく肩がこる
5. 胃腸の調子がわるい	6. しばしば目まいがする
7. このところ頭が重い	8. 風邪をひきやすい
9. 疲れやすい	10. このところ寝つきがよくない
11. 根気が続かない	12. 自分の好きなことでもやる気がしない
13. 頭がさえない	14. イライラすることが多い
15. ささいなことが気になる	16. 心配ごとが多い
17. 気が散ることが多い	18. 生活にはりあいを感じない

7. ご所属先の診療所についてお伺いします。

7-1. 人員・体制

問38. 医師数(実人数)	()人	問39. 医師のうち院長の親族(院長本人除く)	()人
問40. 医師数(常勤換算)	()人	問41. 看護師数(常勤換算数)	()人
問42. 事務職員数(常勤換算数)	()人	問43. 病床の有無	1. 有 2. 無
問44. 法人格の有無	1. 有 2. 無	問45. 訪問看護ステーション併設の有無	1. 有 2. 無
問46. ご所属先にあてはまる番号に○をつけて下さい。			
1. 在宅療養支援診療所 2. 機能強化型在宅療養支援診療所(単独) 3. 機能強化型在宅療養支援診療所(連携) 4. 在宅療養支援診療所以外の診療所			
問47. ご所属先における夜間休日の当直等の手当の状況(概ねの額)を教えてください。			
夜間: 基本手当: ()円/一晚 + ()円/臨時訪問1回 休日: 基本手当: ()円/日中 + ()円/臨時訪問1回			

7-2. 患者数・算定回数

問48. 過去3ヶ月の訪問診療患者人数(月平均)	約()人/月
問49. 過去3ヶ月の往診回数(月平均)	約()回/月
問49-1. 往診のうち、緊急往診の回数(月平均)	約()回/月
問49-2. 往診のうち、夜間(深夜除く)往診の回数(月平均)	約()回/月
問49-3. 往診のうち、深夜往診の回数(月平均)	約()回/月
問50. 過去3ヶ月の看取り加算の算定人数(月平均)	約()人/月
問51. 過去3ヶ月のターミナルケア加算の算定人数(月平均)	約()人/月
問52. 過去3ヶ月の在宅がん医療総合診療料の算定人数(月平均)	約()人/月
問53. 過去3ヶ月の外来患者延べ人数(月平均)	約()人/月

8. 最後にあなたご自身について教えてください。

問54. 医師としての経験年数	()年	問55. 訪問診療の経験年数	()年
問56. 職位	1. 院長/診療科責任者 2. スタッフ医師 3. 後期研修医 4. その他		
問57. 性別	1. 男 2. 女	問58. 年齢	()才
問59. 配偶者の有無	1. 有 2. 無	問60. 子供の有無	1. 有 2. 無
問61. あなたがご家庭で主たる担当として担っている役割を教えてください。(あてはまるもの全てに○)			
1. 子育て 2. 介護 3. 炊事 4. 洗濯 5. 掃除 6. その他			
問62. お住まいの場所から職場に行くまでの普段使っている交通手段での所要時間を教えてください。(○は1つ)			
1. 5分未満 2. 15分未満 3. 30分未満 4. 1時間未満 5. 1時間以上			
問63. 昨年1年間の収入額について教えてください。(○は1つ)			
1. 500万円未満 2. 1000万円未満 3. 1500万円未満 4. 2000万円未満 5. 3000万円未満 6. 3000万円以上			

9. その他、夜間や休日の連絡に対するご意見・ご要望をご自由にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。記入漏れはありませんでしょうか、今一度ご確認下さい。
同封の返信用封筒でご返信下さいますようお願いいたします。

ID: _____

診療所医師用(B)

在宅療養者に対する夜間休日の臨時対応に関するアンケート

ご回答に先立ってご記入いただきたい事項

- アンケートでは、実際に起きた夜間休日臨時対応に関する質問をさせていただきます。そこで、以下の条件に合う患者さんを一人選定し、その患者さんに関する情報を以下に記載して下さい。患者さんの氏名が特定されないよう、イニシャルでお答えください。

患者さんの選定条件	
<input type="checkbox"/>	普段から訪問診療をしており、現在も診療中の患者 ※1
<input type="checkbox"/>	3か月以内に夜間休日臨時対応が発生した患者 ※2
<input type="checkbox"/>	訪問看護サービスを受けていない患者
※1 訪問診療を普段されていない診療所の場合は、現在外来診療中の方をお選び下さい。	
※2 3か月以内に夜間休日臨時対応が発生した患者がいない場合は過去に遡って、対応の生じた患者をお選び下さい。	

氏名	姓のイニシャル () ・ 名のイニシャル ()
性別	男 ・ 女
生年月日	西暦()年()月

- 選定した患者さんの直近に生じた夜間休日臨時対応の日時と主訴について教えて下さい。()内に数字もしくは曜日をお書き下さい。

日にち	西暦()年()月()日()曜日
時間	(午前・午後)()時頃
主訴	

- 上記情報を、クリーム色の患者様用アンケートにご記入の上、クリーム色の封筒に入れ、患者様宛てに郵送もしくは手渡しにてお渡しいただけると幸いです。

以上がお済みになりましたら、次ページ以降のアンケートにご回答をお願いいたします。

【ご記入上のお願い】

この度は、調査へのご協力を頂き誠にありがとうございます。
本調査では、夜間休日臨時対応の実際や体制、また、夜間休日臨時対応の負担感等について調査いたします。中には細かい内容の質問や似たような質問もありますが、おわかりになる範囲で結構ですので、最後までお答えいただくようお願いいたします。

- アンケートは全部で12ページで構成され、質問部分は全10ページになります(3ページ~12ページ)
- アンケートの回答にかかる時間は約20分です。
- この調査は、**あらかじめ選定いただいた夜間休日臨時対応事例を実際に担当された医師・看護師および対象の患者様・ご家族様**にご回答をお願いしています。
- アンケートのご記入が終了しましたら、**同封の返信用封筒に入れて、1月30日(金)までにポストにご投函下さい。**
- ご回答いただいたアンケートはID番号で厳重に管理します。ご回答にあたり、回答結果に関して個人的な情報が漏れることはございません。患者様・ご家族様や他の医師・看護師にもお伝えは致しませんので、今のご自分のお気持ちや状態を回答に反映ください。
- ご回答の方法：各質問の指示に従い、回答欄にご記入ください。下記の例をご参考になさってください。

例1) あなたの現在の健康状態はいかがですか。

1 よい (2) まあよい 3 ふつう 4 あまりよくない 5 よくない

例2) あなたの年齢は何才ですか。 (48) 才

- ご記入いただく際に不明な点などがありましたら、連絡先までお気軽にお問い合わせください。

【本アンケート調査に関する連絡先】

東京大学医学部 在宅医療学拠点 吉江梧、野口麻衣子
〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学医学部附属病院 中央診療棟2 8階
電話・FAX: 03(5800)9542 Email: chcm-info@umin.ac.jp

1. 1ページ目に記載の夜間休日臨時対応について振り返り、以下の質問にお答え下さい。

問1. 夜間・休日の臨時対応が発生した理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1. 状態急変 2. 事故 3. 患者の不安 4. 家族の不安 5. その他 ()

問2. 連絡をしてきたのは誰ですか。(1つに○)

1. 患者本人 2. 同居のご家族 3. 別居のご家族
4. ご近所の方 5. 看護師 6. その他 ()

問3. 連絡を受けた時、あなたはどこにいましたか。(1つに○)

1. 自宅 2. 診療所・事業所 3. その他 ()

問4. 連絡を受けた時、あなたはどのような対応をしましたか。なお、複数の対応が当てはまる場合は一番最初の対応をお答え下さい。(1つに○)

1. 電話で話して終了 2. すぐに医師が訪問 3. すぐに看護師が訪問
4. 朝まで待って医師が訪問 5. 朝まで待って看護師が訪問
6. すぐには行かなかったが朝より前に医師が訪問
7. すぐには行かなかったが朝より前に看護師が訪問
8. 訪問せずに病院への救急搬送を指示 9. その他 ()

(「2」もしくは「3」と答えた方に伺います。)

問4-1. すぐに訪問した理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1. 生命に関わる状態 2. 緊急処置が必要な状態
3. 疼痛コントロールが必要な状態 4. 本人の強い希望
5. 家族の強い希望 6. その他 ()

問5. 夜間休日臨時対応をしたその患者の転帰を教えてください。

1. 在宅療養継続 2. 救急搬送後外来受診で帰宅 3. 救急搬送後入院
4. 施設入所 5. 死亡 6. その他 ()

問6. その時の臨時対応は医学的見地から見て必要だったと思いますか。

1. はい 2. いいえ

問7. その際の対応方法以外に取り得た方法はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 電話で話して終了 2. すぐに医師が訪問 3. すぐに看護師が訪問
4. 朝まで待って医師が訪問 5. 朝まで待って看護師が訪問
6. すぐには行かなかったが朝より前に医師が訪問
7. すぐには行かなかったが朝より前に看護師が訪問
8. 訪問せずに病院への救急搬送を指示 9. その他 ()

2. 1ページ目に記載されている患者の夜間休日臨時対応に関する事前の取り決め等についてお伺いします。時と場合により異なる場合は、この患者の場合の主たるものに一つ○をつけて下さい。

問8. 1ページ目に記載の患者から夜間・休日の臨時連絡を受ける体制は事前に決めていましたか。

1. はい 2. いいえ → 問9へお進みください

問8-1. 「1. はい」と答えた方に伺います。

1) 患者・家族からの最初の連絡を受ける機関はどちらになりますか。

1. 診療所 2. 訪問看護ステーション 3. その他 ()

2) 患者・家族からの最初の連絡を受ける職種は多くの場合どなたですか。

1. 医師 2. 看護師 3. 事務スタッフ
4. その他 ()

3) 患者・家族からの最初の連絡を受けた方が判断に迷った場合の対応方法として最も当てはまるのはどちらですか。

1. 主治医へ連絡
2. 訪問看護ステーションの管理者へ連絡
3. 当直医へ連絡
4. 病院へ搬送する
5. その他 ()

問9. 1ページ目に記載の患者に夜間休日対応出来る医師は診療所内に何人いますか。

1. 複数人 2. 一人 3. 誰もいない → 問10へお進みください

問9-1. 「1. 複数人」と答えた方へお伺いします。

1) 夜間休日の臨時連絡を担当できる複数人の医師とは、具体的に何人ですか。

- ()人
うち、非常勤医 ()人
うち、夜間休日の臨時対応だけを行う非常勤医 ()人

2) 夜間休日の臨時連絡対応を担当する医師間で、夜間休日当番の順番はどのように回していますか。おおよその目安をお答え下さい。

1. 1日毎 2. 2-3日毎 3. 4-6日毎 4. 1週間毎 5. 2週間毎
6. 1ヶ月毎 7. 特に決めていない 8. その他 ()

問24. ご所属先の夜間休日臨時対応方針について教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1. なるべく電話のみで対応する 2. 要望を受けたらすぐに訪問する
3. 気になったらすぐ訪問する 4. 気になったら病院への搬送を指示する
5. その他 ()

問25. 患者・家族からの連絡を最初に受ける(ファーストコール)体制について教えてください。
患者毎に異なる場合は、最も多くの患者に対してとっている体制をお答え下さい。

問25-1. ファーストコールを受けるのはどの機関ですか。(1つに○)

1. 診療所 2. 訪問看護ステーション 3. その他 ()

問25-2. ファーストコールを取るのはどの職種ですか。(1つに○)

1. 医師 2. 看護師 3. 事務スタッフ 4. その他 ()

問25-3. 判断に迷った場合のバックアップ体制はどのようになっていますか。(1つに○)

1. 上司の医師へ連絡 2. 主治医へ連絡 3. なし 5. その他 ()

問26. ご所属先の夜間休日臨時対応の対応体制について教えてください。

問26-1. 診療所で夜間休日臨時対応の連絡対応をしている医師は何人ですか。

1. 複人数 2. 一人 → 問27へお進みください

↓

問26-1-1. 「1. 複人数」と答えた方へお伺いします。

1) 夜間休日の臨時対応を担当している医師は何人ですか。

- () 人
うち、非常勤医 () 人
うち、夜間休日の臨時対応だけを行う非常勤医 () 人

2) 夜間休日の臨時対応を担当する医師間で、夜間休日当番の順番はどのように回していますか。おおよその目安をお答え下さい。

1. 1日毎 2. 2-3日毎 3. 4-6日毎 4. 1週間毎 5. 2週間毎
6. 1ヶ月毎 7. 特に決めていない 8. その他 ()

問27. ご所属先の診療所以外の診療所等との夜間休日臨時対応の対応に関する連携体制について教えてください。

問27-1. 所属先以外の診療所等と夜間休日臨時対応に関する取り決めをしていますか。

1. はい 2. いいえ → 問28へお進みください

↓

問27-1-1. 「1. はい」と答えた方へお伺いします。

1) 夜間休日臨時対応の取り決めをしているご所属先以外の診療所等は何ヶ所ですか。

- () ヶ所

2) 夜間休日臨時対応について取り決めをしている機関の種別を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 診療所 2. 病院 4. その他 ()

3) ご所属先以外の診療所等との夜間休日臨時対応の取り決めはどうされていますか。

1. 特定の医療機関(別法人)と契約し、夜間休日対応を完全に依頼している
2. 特定の医療機関(別法人)と契約し、夜間休日対応の一部を依頼している
3. 同一法人の一機関が、夜間休日の対応を全てすることになっている
4. 同一法人の一機関が、夜間休日対応の一部をすることになっている
5. 複数機関の医師で輪番制を採って夜間休日の対応をすることになっている
6. その他 ()

4) ご所属先以外の医療機関との夜間休日臨時対応の順番の回し方を教えてください。
毎回順番の回し方が異なる場合は、だいたいの目安をお答え下さい。(1つに○)

1. 1日 2. 2-3日 3. 4-6日 4. 1週間
5. 2週間 6. 1ヶ月 7. 全てお願いしている
8. 特に決めていない 9. 年末年始・出張時など限られたときだけ依頼
10. その他 ()

問28. 夜間休日臨時対応の対応当番の際に診療所へどれくらいで到着する場所にいることが多いですか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 15分未満 2. 30分未満 3. 60分未満 4. 90分未満
5. 120分未満 6. 120分以上

問29. あなたが夜間休日臨時対応の当番の際には、どこにすることが最も多いですか。

1. 自宅 2. 診療所 3. その他 ()

問30. 夜間休日臨時対応の対応当番の日にお酒を飲むことがありますか。

1. 普段からお酒を飲まない 2. 普段は飲むが、当番の日には飲まない
3. ときにたしなむ程度は飲む(その日はタクシー等で対応)
4. その他 ()

問31. 普段から、夜間や緊急時の連絡方法について患者・家族へ伝えていますか。

1. はい 2. いいえ

↓

問31-1. だいたいどれくらいの時間で患者宅に到着できると説明していますか。

1. 15分未満 2. 30分未満 3. 60分未満 4. 90分未満
5. 120分未満 6. 120分以上

問32. 普段から予測される状態とその対応方法について患者・家族へ伝えていますか。

1. はい 2. いいえ

↓

問32-1. どの職種が説明していますか。 1. 医師 2. 看護師 3. その他

5. 在宅医療における夜間休日臨時対応について、あなたのお考えをお聞かせください。

問3 3. 家庭医制度の根付いているオランダなどでは、地域の家庭医が輪番制をとり、夜間休日の外来及び往診の体制を整えています。あなたの働く地域で、将来機関・法人を越えた地域単位の夜間休日の往診体制を整えることができると思いますか？

1. 既にやっている 2. できると思う
3. 条件が整えばできると思う 4. どうやってもできないと思う

問3 3-1. どんな条件が整うとよいと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 病院勤務の若手医師等が非常勤で輪番に加わってくれる
2. 行政による補助金が整備される 3. 診療報酬による誘導が行われる
4. 医師に連絡が入る前段で看護師等による一次対応(病棟におけるナースコール対応のようなこと)が行われる
5. 主治医ではない医師が対応することについて患者(市民)の納得が得られる
6. 郡市医師会長が体制整備を訴え促す
7. 市町村長が首長として体制整備を訴え促す
8. その他()

問3 3-1-1. 上記のうち、特に重要と思う番号をお書きください。()

問3 3-2. できないと思う理由を教えてください。

6. ここからはご自身の近況や仕事に対する考えなどについて伺います。

問3 4. 仕事に関する以下の質問に対して、あなたの考えに最もあてはまる数字に○をつけて下さい。(各質問に対して○は1つ)

	全く違う	違う	そうである	全くそのとおりである
1) 新しいことを覚えることが必要な仕事だ。	1	2	3	4
2) くり返しの作業がたくさんある仕事だ。	1	2	3	4
3) 創造性が必要な仕事だ。	1	2	3	4
4) 自分自身でどのように仕事をするか決めることができる。	1	2	3	4
5) たくさんの技術や知識が必要な仕事だ。	1	2	3	4
6) どのように仕事をすすめるか決める自由は、私にはほとんどない。	1	2	3	4
7) 仕事の中で、何種類も別々のことをする機会がある。	1	2	3	4
8) 自分の仕事の予定を決めることができる。	1	2	3	4
9) 自分自身の特別な才能をのぼす機会がある。	1	2	3	4
10) とても速く働くことが必要な仕事だ。	1	2	3	4
11) とても一生懸命に働くことが必要な仕事だ。	1	2	3	4
12) あまりに多すぎる仕事を頼まれることはない。	1	2	3	4
13) 仕事をやり終えるのに十分な時間が与えられている。	1	2	3	4
14) 他の人達からお互いにいい違う指示を出されて困ることはない。	1	2	3	4

問3 5. 仕事と家庭に対する以下の各質問に対して、最もあてはまる数字に○をつけて下さい。(各質問に対して○は1つ)

	全くあてはまらない	あまりあてはまらない	だいたいあてはまる	そのとおりである	全くそのとおりである
1) 自分が家族と過ごしたい時間を、思っている以上に仕事にとられる。	1	2	3	4	5
2) 仕事に時間が取られるため、仕事と同様に家庭での責任や家事をする時間が取りにくい。	1	2	3	4	5
3) 職務を果たすのに多くの時間を使うため、家族との活動ができないことがある。	1	2	3	4	5
4) 家族としての責任に時間を費やすために、自分の職務が妨げられることがよくある。	1	2	3	4	5
5) 家族と時間を過ごすために、自分のキャリアアップに役立つ職場での活動に時間をかけられないことがよくある。	1	2	3	4	5
6) 家族としての責任を果たすために多くの時間を使うので、仕事の活動が犠牲になっている。	1	2	3	4	5
7) 仕事から帰った時、くたくたに疲れていて、家族といろいろなことをしたり、家族としての責任が果たせないことがよくある。	1	2	3	4	5
8) 仕事から帰った時、精神的に疲れ切っていて、家族のために何もすることが出来ないことがよくある。	1	2	3	4	5
9) 職場でのストレスのために、家に帰っても自分が好きなことさえ出来ないことがある。	1	2	3	4	5
10) 家庭でのストレスのために、職場でも家族のことが頭を離れないことがよくある。	1	2	3	4	5
11) 家庭での責任からくるストレスがよくあるので、仕事に集中するのが難しいことがある。	1	2	3	4	5
12) 家庭生活の緊張と不安のため、往々にして仕事をする能力が低下してしまう。	1	2	3	4	5
13) 仕事の際に使う問題解決行動は、家庭での問題解決には効果的でない。	1	2	3	4	5
14) 職場で、有効かつ必要な態度や行動は、家庭ではむしろ逆効果だろう。	1	2	3	4	5
15) 職場では効果的な行動は、良い親や配偶者となるには役に立たない。	1	2	3	4	5
16) 家庭ではうまくいく行動が、職場では効果的でないように思う。	1	2	3	4	5
17) 家庭では有効かつ必要な態度や行動は、職場ではむしろ逆効果だろう。	1	2	3	4	5
18) 家庭で、問題をうまく解決する行動は、職場では有用でないように思う。	1	2	3	4	5

問36. 仕事や現在の夜間休日臨時対応体制の今後についてどのように考えているか教えてください。(各質問に対して○は1つ)

	全くあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらでもない	そのとおりである	全くそのとおりである
1) 現在の仕事について満足している	1	2	3	4	5
2) 現在の仕事をそのまま続けたいと思う	1	2	3	4	5
3) 現在の夜間休日の臨時対応体制を続けたいと思う	1	2	3	4	5
4) 現在の夜間休日の臨時対応体制を継続することは可能だと思う	1	2	3	4	5
5) 夜間休日の臨時対応により翌日以降の業務に悪影響を与える	1	2	3	4	5
6) 私の仕事は身体的に負担が大きい	1	2	3	4	5
7) 私の仕事は精神的に負担が大きい	1	2	3	4	5

問37. 近ごろ次のような症状がありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. このごろ全身がだるい	2. 腰が重い
3. 目が疲れる	4. よく肩がこる
5. 胃腸の調子がわるい	6. しばしば目まいがする
7. このところ頭が重い	8. 風邪をひきやすい
9. 疲れやすい	10. このところ寝つきがよくない
11. 根気が続かない	12. 自分の好きなことでもやる気がしない
13. 頭がさえない	14. イライラすることが多い
15. ささいなことが気になる	16. 心配ごとが多い
17. 気が散ることが多い	18. 生活にはりあいを感しない

7. ご所属先の診療所についてお伺いします。

7-1. 人員・体制

問38. 医師数(実人数)	()人	問39. 医師のうち院長の親族(院長本人除く)	()人
問40. 医師数(常勤換算)	()人	問41. 看護師数(常勤換算数)	()人
問42. 事務職員数(常勤換算数)	()人	問43. 病床の有無	1. 有 2. 無
問44. 法人格の有無	1. 有 2. 無	問45. 訪問看護ステーション併設の有無	1. 有 2. 無
問46. ご所属先にあてはまる番号に○をつけて下さい。			
1. 在宅療養支援診療所 2. 機能強化型在宅療養支援診療所(単独) 3. 機能強化型在宅療養支援診療所(連携) 4. 在宅療養支援診療所以外の診療所			
問47. ご所属先における夜間休日の当直等の手当の状況(概ねの額)を教えてください。			
夜間: 基本手当: ()円/一晚 + ()円/臨時訪問1回 休日: 基本手当: ()円/日中 + ()円/臨時訪問1回			

7-2. 患者数・算定回数

問48. 過去3ヶ月の訪問診療患者人数(月平均)	約()人/月
問49. 過去3ヶ月の往診回数(月平均)	約()回/月
問49-1. 往診のうち、緊急往診の回数(月平均)	約()回/月
問49-2. 往診のうち、夜間(深夜除く)往診の回数(月平均)	約()回/月
問49-3. 往診のうち、深夜往診の回数(月平均)	約()回/月
問50. 過去3ヶ月の看取り加算の算定人数(月平均)	約()人/月
問51. 過去3ヶ月のターミナルケア加算の算定人数(月平均)	約()人/月
問52. 過去3ヶ月の在宅がん医療総合診療料の算定人数(月平均)	約()人/月
問53. 過去3ヶ月の外来患者延べ人数(月平均)	約()人/月

8. 最後にあなたご自身について教えてください。

問54. 医師としての経験年数	()年	問55. 訪問診療の経験年数	()年
問56. 職位	1. 院長/診療科責任者 2. スタッフ医師 3. 後期研修医 4. その他		
問57. 性別	1. 男 2. 女	問58. 年齢	()才
問59. 配偶者の有無	1. 有 2. 無	問60. 子供の有無	1. 有 2. 無
問61. あなたがご家庭で主たる担当として担っている役割を教えてください。(あてはまるもの全てに○)			
1. 子育て 2. 介護 3. 炊事 4. 洗濯 5. 掃除 6. その他			
問62. お住まいの場所から職場に行くまでの普段使っている交通手段での所要時間を教えてください。(○は1つ)			
1. 5分未満 2. 15分未満 3. 30分未満 4. 1時間未満 5. 1時間以上			
問63. 昨年1年間の収入額について教えてください。(○は1つ)			
1. 500万円未満 2. 1000万円未満 3. 1500万円未満 4. 2000万円未満 5. 3000万円未満 6. 3000万円以上			

9. その他、夜間や休日の連絡に対するご意見・ご要望をご自由にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。記入漏れはありませんでしょうか、今一度ご確認ください。同封の返信用封筒でご返信下さいますようお願いいたします。

ID :

診療所医師用(C)

在宅療養者に対する夜間休日の臨時対応に関するアンケート

ご回答に先立ってご確認いただきたい事項

- 本アンケートは、診療所の先生方ご回答用の「在宅療養者に対する夜間休日の臨時対応に関するアンケート」です。
- 次ページ目から始まるアンケートでは、下記の欄に記載されている患者様および夜間休日臨時対応の場面を想定して、次のページ以降のアンケートにご回答くださいますと幸いです。

訪問看護師さんご記入欄

- 今回のアンケートで選定していただいた患者さんに関する情報

患者さんの選定条件

- 主治医が訪問診療にて定期診療中で、訪問看護の指示を受けている患者
 - 3か月以内に夜間休日臨時対応が発生した患者 ※1
- ※1 3か月以内に夜間休日臨時対応が発生した患者がいない場合は過去に遡って、対応の生じた患者をお選び下さい。

氏名	姓のイニシャル () ・ 名のイニシャル ()
性別	男 ・ 女
生年月日	西暦()年()月

- 上記患者さんにおいて直近に生じた夜間休日臨時対応に関する情報

日にち	西暦()年()月()日()曜日
時間	(午前 ・ 午後) ()時頃
主訴	

以上をご確認の上、次ページ以降のアンケートにご回答をお願いいたします。

【ご記入上のお願い】

この度は、調査へのご協力を頂き誠にありがとうございます。
本調査では、夜間休日臨時対応の実際や体制、また、夜間休日臨時対応の負担感等について調査いたします。中には細かい内容の質問や似たような質問もありますが、おわかりになる範囲で結構ですので、最後までお答えいただくようお願いいたします。

- アンケートは全部で12ページで構成され、質問部分は全10ページになります(3ページ~12ページ)
- アンケートの回答にかかる時間は約20分です。
- この調査は、**あらかじめ選定いただいた夜間休日臨時対応事例を実際に担当された医師・看護師および対象の患者様・ご家族様**にご回答をお願いしています。
- アンケートのご記入が終了しましたら、**同封の返信用封筒に入れて、1月30日(金)までにポストにご投函下さい。**
- ご回答いただいたアンケートはID番号で厳重に管理します。ご回答にあたり、回答結果に関して個人的な情報が漏れることはございません。患者様・ご家族様や他の医師・看護師にもお伝えは致しませんので、今のご自分のお気持ちや状態を回答に反映ください。
- ご回答の方法：各質問の指示に従い、回答欄にご記入ください。下記の例をご参考になさってください。

例1) あなたの現在の健康状態はいかがですか。

1 よい 2 まあよい 3 ふつう 4 あまりよくない 5 よくない

例2) あなたの年齢は何才ですか。

(48) 才

- ご記入いただく際に不明な点などがありましたら、連絡先までお気軽にお問い合わせください。

【本アンケート調査に関する連絡先】

東京大学医学部 在宅医療学拠点 吉江悟、野口麻衣子
〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学医学部附属病院 中央診療棟2 8階
電話・FAX : 03(5800)9542 Email : chem-info@umin.ac.jp

1. 1ページ目に記載の夜間休日臨時対応について振り返り、以下の質問にお答え下さい。

問0. あなたは、1ページ目に記載されている日時に、夜間休日臨時対応が発生したことを知っていましたか。

1. 知っていた 2. 今まで知らなかった → 問8へお進みください

問1. 夜間・休日の臨時対応が発生した理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1. 状態急変 2. 事故 3. 患者の不安 4. 家族の不安 5. その他 ()

問2. 連絡をしてきたのは誰ですか。(1つに○)

1. 患者本人 2. 同居のご家族 3. 別居のご家族
4. ご近所の方 5. 看護師 6. その他 ()

問3. 連絡を受けた時、あなたはどこにいましたか。(1つに○)

1. 自宅 2. 診療所・事業所 3. その他 ()

問4. 連絡を受けた時、あなたはどのような対応をしましたか。なお、複数の対応が当てはまる場合は一番最初の対応をお答え下さい。(1つに○)

1. 電話で話して終了 2. すぐに医師が訪問 3. すぐに看護師が訪問
4. 朝まで待って医師が訪問 5. 朝まで待って看護師が訪問
6. すぐには行かなかったが朝より前に医師が訪問
7. すぐには行かなかったが朝より前に看護師が訪問
8. 訪問せずに病院への救急搬送を指示 9. その他 ()

(「2」もしくは「3」と答えた方に伺います。)

問4-1. すぐに訪問した理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1. 生命に関わる状態 2. 緊急処置が必要な状態
3. 疼痛コントロールが必要な状態 4. 本人の強い希望
5. 家族の強い希望 6. その他 ()

問5. 夜間休日臨時対応をしたその患者の転帰を教えてください。

1. 在宅療養継続 2. 救急搬送後外来受診で帰宅 3. 救急搬送後入院
4. 施設入所 5. 死亡 6. その他 ()

問6. その時の臨時対応は医学的見地から見て必要だったと思いますか。

1. はい 2. いいえ

問7. その際の対応方法以外に取り得た方法はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 電話で話して終了 2. すぐに医師が訪問 3. すぐに看護師が訪問
4. 朝まで待って医師が訪問 5. 朝まで待って看護師が訪問
6. すぐには行かなかったが朝より前に医師が訪問
7. すぐには行かなかったが朝より前に看護師が訪問
8. 訪問せずに病院への救急搬送を指示 9. その他 ()

2. 1ページ目に記載されている患者の夜間休日臨時対応に関する事前の取り決め等についてお伺いします。時と場合により異なる場合は、この患者の場合の主たるものに一つ○をつけて下さい。

問8. 1ページ目に記載の患者から夜間・休日の臨時連絡を受ける体制は事前に決めていましたか。

1. はい 2. いいえ → 問9へお進みください

問8-1. 「1. はい」と答えた方に伺います。

1) 患者・家族からの最初の連絡を受ける機関はどちらになりますか。

1. 診療所 2. 訪問看護ステーション 3. その他 ()

2) 患者・家族からの最初の連絡を受ける職種は多くの場合どなたですか。

1. 医師 2. 看護師 3. 事務スタッフ
4. その他 ()

3) 患者・家族からの最初の連絡を受けた方が判断に迷った場合の対応方法として最も当てはまるのはどちらですか。

1. 主治医へ連絡
2. 訪問看護ステーションの管理者へ連絡
3. 当直医へ連絡
4. 病院へ搬送する
5. その他 ()

問9. 1ページ目に記載の患者に夜間休日対応出来る医師は診療所内に何人いますか。

1. 複数人 2. 一人 3. 誰もいない → 問10へお進みください

問9-1. 「1. 複数人」と答えた方へ伺います。

1) 夜間休日の臨時連絡を担当できる複数人の医師とは、具体的に何人ですか。

()人
うち、非常勤医 ()人
うち、夜間休日の臨時対応だけを行う非常勤医 ()人

2) 夜間休日の臨時連絡対応を担当する医師間で、夜間休日当番の順番はどのように回していますか。おおよその目安をお答え下さい。

1. 1日毎 2. 2-3日毎 3. 4-6日毎 4. 1週間毎 5. 2週間毎
6. 1ヶ月毎 7. 特に決めていない 8. その他 ()

問24. ご所属先の夜間休日臨時対応方針について教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1. なるべく電話のみで対応する 2. 要望を受けたらすぐに訪問する
3. 気になったらすぐ訪問する 4. 気になったら病院への搬送を指示する
5. その他 ()

問25. 患者・家族からの連絡を最初に受ける(ファーストコール)体制について教えてください。
患者毎に異なる場合は、最も多くの患者に対してとっている体制をお答え下さい。

問25-1. ファーストコールを受けるのはどの機関ですか。(1つに○)

1. 診療所 2. 訪問看護ステーション 3. その他 ()

問25-2. ファーストコールを取るのはどの職種ですか。(1つに○)

1. 医師 2. 看護師 3. 事務スタッフ 4. その他 ()

問25-3. 判断に迷った場合のバックアップ体制はどのようになっていますか。(1つに○)

1. 管理者へ連絡 2. 主治医へ連絡 3. なし 5. その他 ()

問26. ご所属先の夜間休日臨時対応の対応体制について教えてください。

問26-1. 診療所で夜間休日臨時対応の連絡対応をしている医師は何人ですか。

1. 複数人 2. 一人 → 問27へお進みください

↓

問26-1-1. 「1. 複数人」と答えた方へお伺いします。

1) 夜間休日の臨時対応を担当している医師は何人ですか。

- () 人
うち、非常勤医 () 人
うち、夜間休日の臨時対応だけを行う非常勤医 () 人

2) 夜間休日の臨時対応を担当する医師間で、夜間休日当番の順番はどのように回していますか。おおよその目安をお答え下さい。

1. 1日毎 2. 2-3日毎 3. 4-6日毎 4. 1週間毎 5. 2週間毎
6. 1ヶ月毎 7. 特に決めていない 8. その他 ()

問27. ご所属先の診療所以外の診療所等との夜間休日臨時対応の対応に関する連携体制について教えてください。

問27-1. 所属先以外の診療所等と夜間休日臨時対応に関する取り決めをしていますか。

1. はい 2. いいえ → 問28へお進みください

↓

問27-1-1. 「1. はい」と答えた方へお伺いします。

1) 夜間休日臨時対応の取り決めをしているご所属先以外の診療所等は何ヶ所ですか。

- () ヶ所

2) 夜間休日臨時対応について取り決めをしている機関の種別を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 診療所 2. 病院 4. その他 ()

3) ご所属先以外の診療所等との夜間休日臨時対応の取り決めはどうされていますか。

1. 特定の医療機関(別法人)と契約し、夜間休日対応を完全に依頼している
2. 特定の医療機関(別法人)と契約し、夜間休日対応の一部を依頼している
3. 同一法人の一機関が、夜間休日の対応を全てすることになっている
4. 同一法人の一機関が、夜間休日対応の一部をすることになっている
5. 複数機関の医師で輪番制を採って夜間休日の対応をすることになっている
6. その他 ()

4) ご所属先以外の医療機関との夜間休日臨時対応の順番の回し方を教えてください。
毎回順番の回し方が異なる場合は、だいたいの目安をお答え下さい。(1つに○)

1. 1日 2. 2-3日 3. 4-6日 4. 1週間
5. 2週間 6. 1ヶ月 7. 全てお願いしている
8. 特に決めていない 9. 年末年始・出張時など限られたときだけ依頼
10. その他 ()

問28. 夜間休日臨時対応の対応当番の際に診療所へどれくらいで到着する場所にいることが多いですか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 15分未満 2. 30分未満 3. 60分未満 4. 90分未満
5. 120分未満 6. 120分以上

問29. あなたが夜間休日臨時対応の当番の際には、どこにいたことが最も多いですか。

1. 自宅 2. 診療所 3. その他 ()

問30. 夜間休日臨時対応の対応当番の日にお酒を飲むことがありますか。

1. 普段からお酒を飲まない 2. 普段は飲むが、当番の日には飲まない
3. ときにたしなむ程度は飲む(その日はタクシー等で対応)
4. その他 ()

問31. 普段から、夜間や緊急時の連絡方法について患者・家族へ伝えていますか。

1. はい 2. いいえ

↓

問31-1. だいたいどれくらいの時間で患者宅に到着できると説明していますか。

1. 15分未満 2. 30分未満 3. 60分未満 4. 90分未満
5. 120分未満 6. 120分以上

問32. 普段から予測される状態とその対応方法について患者・家族へ伝えていますか。

1. はい 2. いいえ

↓

問32-1. どの職種が説明していますか。 1. 医師 2. 看護師 3. その他

5. 在宅医療における夜間休日臨時対応について、あなたのお考えをお聞かせください。

問33. 家庭医制度の根付いているオランダなどでは、地域の家庭医が輪番制をとり、夜間休日の外来及び往診の体制を整えています。あなたの働く地域で、将来機関・法人を越えた地域単位の夜間休日の往診体制を整えることができますか？

1. 既にやっている 2. できると思う
3. 条件を整えばできると思う 4. どうやってもできないと思う

問33-1. どんな条件が整うとよいと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 病院勤務の若手医師等が非常勤で輪番に加わってくれる
2. 行政による補助金が整備される 3. 診療報酬による誘導が行われる
4. 医師に連絡が入る前段で看護師等による一次対応(病棟におけるナースコール対応のようなこと)が行われる
5. 主治医ではない医師が対応することについて患者(市民)の納得が得られる
6. 郡市医師会長が体制整備を訴え促す
7. 市町村長が首長として体制整備を訴え促す
8. その他()

問33-1-1. 上記のうち、特に重要と思う番号をお書きください。()

問33-2. できないと思う理由を教えてください。

6. ここからはご自身の近況や仕事に対する考えなどについて伺います。

問34. 仕事に関する以下の質問に対して、あなたの考えに最もあてはまる数字に○をつけて下さい。(各質問に対して○は1つ)

	全く違う	違う	そうである	全くそうである
1) 新しいことを覚えることが必要な仕事だ。	1	2	3	4
2) くり返しの作業がたくさんある仕事だ。	1	2	3	4
3) 創造性が必要な仕事だ。	1	2	3	4
4) 自分自身でどのように仕事をするか決めることができる。	1	2	3	4
5) たくさんの技術や知識が必要な仕事だ。	1	2	3	4
6) どのように仕事をすすめるか決める自由は、私にはほとんどない。	1	2	3	4
7) 仕事の中で、何種類も別々のことをする機会がある。	1	2	3	4
8) 自分の仕事の予定を決めることができる。	1	2	3	4
9) 自分自身の特別な才能をのぼす機会がある。	1	2	3	4
10) とても速く働くことが必要な仕事だ。	1	2	3	4
11) とても一生懸命に働くことが必要な仕事だ。	1	2	3	4
12) あまりに多すぎる仕事を頼まれることはない。	1	2	3	4
13) 仕事をやり終えるのに十分な時間が与えられている。	1	2	3	4
14) 他の人達からお互いにくい違う指示を出されて困ることはない。	1	2	3	4

問35. 仕事と家庭に対する以下の各質問に対して、最もあてはまる数字に○をつけて下さい。(各質問に対して○は1つ)

	全くあてはまらない	あまりあてはまらない	だいたいあてはまらない	そのとおりである	全くそのとおりである
1) 自分が家族と過ごしたい時間を、思っている以上に仕事にとられる。	1	2	3	4	5
2) 仕事に時間が取られるため、仕事と同様に家庭での責任や家事をする時間が取りにくい。	1	2	3	4	5
3) 職務を果たすのに多くの時間を使うため、家族との活動ができないことがある。	1	2	3	4	5
4) 家族としての責任に時間を費やすために、自分の職務が妨げられることがよくある。	1	2	3	4	5
5) 家族と時間を過ごすために、自分のキャリアアップに役立つ職場での活動に時間をかけられないことがよくある。	1	2	3	4	5
6) 家族としての責任を果たすために多くの時間を使うので、仕事の活動が犠牲になっている。	1	2	3	4	5
7) 仕事から帰った時、くたくたに疲れていて、家族といろいろなことをしたり、家族としての責任が果たせないことがよくある。	1	2	3	4	5
8) 仕事から帰った時、精神的に疲れ切っていて、家族のために何もすることが出来ないことがよくある。	1	2	3	4	5
9) 職場でのストレスのために、家に帰っても自分が好きなことさえ出来ないことがある。	1	2	3	4	5
10) 家庭でのストレスのために、職場でも家族のことが頭を離れないことがよくある。	1	2	3	4	5
11) 家庭での責任からくるストレスがよくあるので、仕事に集中するのが難しいことがある。	1	2	3	4	5
12) 家庭生活の緊張と不安のため、往々にして仕事をする能力が低下してしまう。	1	2	3	4	5
13) 仕事の際に使う問題解決行動は、家庭での問題解決には効果的でない。	1	2	3	4	5
14) 職場で、有効かつ必要な態度や行動は、家庭ではむしろ逆効果だろう。	1	2	3	4	5
15) 職場では効果的な行動は、良い親や配偶者となるには役に立たない。	1	2	3	4	5
16) 家庭ではうまくいく行動が、職場では効果的でないように思う。	1	2	3	4	5
17) 家庭では有効かつ必要な態度や行動は、職場ではむしろ逆効果だろう。	1	2	3	4	5
18) 家庭で、問題をうまく解決する行動は、職場では有用でないように思う。	1	2	3	4	5

問36. 仕事や現在の夜間休日臨時対応体制の今後についてどのように考えているか教えて下さい。(各質問に対して○は1つ)

	全くあてはまらない	あまりあてはまらない	多少でもない	そのとおりである	全くそのとおりである
1) 現在の仕事について満足している	1	2	3	4	5
2) 現在の仕事をそのまま続けたいと思う	1	2	3	4	5
3) 現在の夜間休日の臨時対応体制を続けたいと思う	1	2	3	4	5
4) 現在の夜間休日の臨時対応体制を継続することは可能だと思う	1	2	3	4	5
5) 夜間休日の臨時対応により翌日以降の業務に悪影響を与える	1	2	3	4	5
6) 私の仕事は身体的に負担が大きい	1	2	3	4	5
7) 私の仕事は精神的に負担が大きい	1	2	3	4	5

問37. 近ごろ次のような症状がありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. このごろ全身がだるい	2. 腰が重い
3. 目が疲れる	4. よく肩がこる
5. 胃腸の調子がわるい	6. しばしば目まいがする
7. このところ頭が重い	8. 風邪をひきやすい
9. 疲れやすい	10. このところ寝つきがよくない
11. 根気が続かない	12. 自分の好きなことでもやる気がしない
13. 頭がさえない	14. イライラすることが多い
15. ささいなことが気になる	16. 心配ごとが多い
17. 気が散ることが多い	18. 生活にはりあいを感しない

7. ご所属先の診療所についてお伺いします。

7-1. 人員・体制

問38. 医師数(実人数)	()人	問39. 医師のうち院長の親族(院長本人除く)	()人
問40. 医師数(常勤換算)	()人	問41. 看護師数(常勤換算数)	()人
問42. 事務職員数(常勤換算数)	()人	問43. 病床の有無	1. 有 2. 無
問44. 法人格の有無	1. 有 2. 無	問45. 訪問看護ステーション併設の有無	1. 有 2. 無
問46. ご所属先にあてはまる番号に○をつけて下さい。			
1. 在宅療養支援診療所 2. 機能強化型在宅療養支援診療所(単独) 3. 機能強化型在宅療養支援診療所(連携) 4. 在宅療養支援診療所以外の診療所			
問47. ご所属先における夜間休日の当直等の手当の状況(概ねの額)を教えてください。			
夜間: 基本手当: ()円/一晚 + ()円/臨時訪問1回 休日: 基本手当: ()円/日中 + ()円/臨時訪問1回			

7-2. 患者数・算定回数

問48. 過去3ヶ月の訪問診療患者人数(月平均)	約()人/月
問49. 過去3ヶ月の往診回数(月平均)	約()回/月
問49-1. 往診のうち、緊急往診の回数(月平均)	約()回/月
問49-2. 往診のうち、夜間(深夜除く)往診の回数(月平均)	約()回/月
問49-3. 往診のうち、深夜往診の回数(月平均)	約()回/月
問50. 過去3ヶ月の看取り加算の算定人数(月平均)	約()人/月
問51. 過去3ヶ月のターミナルケア加算の算定人数(月平均)	約()人/月
問52. 過去3ヶ月の在宅がん医療総合診療料の算定人数(月平均)	約()人/月
問53. 過去3ヶ月の外来患者延べ人数(月平均)	約()人/月

8. 最後にあなたご自身について教えてください。

問54. 医師としての経験年数	()年	問55. 訪問診療の経験年数	()年
問56. 職位	1. 院長/診療科責任者 2. スタッフ医師 3. 後期研修医 4. その他		
問57. 性別	1. 男 2. 女	問58. 年齢	()才
問59. 配偶者の有無	1. 有 2. 無	問60. 子供の有無	1. 有 2. 無
問61. あなたがご家庭で主たる担当として担っている役割を教えてください。(あてはまるもの全てに○)			
1. 子育て 2. 介護 3. 炊事 4. 洗濯 5. 掃除 6. その他			
問62. お住まいの場所から職場に行くまでの普段使っている交通手段での所要時間を教えてください。(○は1つ)			
1. 5分未満 2. 15分未満 3. 30分未満 4. 1時間未満 5. 1時間以上			
問63. 昨年1年間の収入額について教えてください。(○は1つ)			
1. 500万円未満 2. 1000万円未満 3. 1500万円未満 4. 2000万円未満 5. 3000万円未満 6. 3000万円以上			

9. その他、夜間や休日の連絡に対するご意見・ご要望をご自由にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。記入漏れはありませんでしょうか、今一度ご確認下さい。同封の返信用封筒でご返信下さいますようお願いいたします。

ID:

訪問看護師用(A)

在宅療養者に対する夜間休日の臨時対応に関するアンケート

ご回答に先立ってご記入いただきたい事項

- アンケートでは、実際に起きた夜間休日臨時対応に関する質問をさせていただきます。そこで、以下の条件に合う患者さんを一人選定し、その患者さんに関する情報を以下に記載して下さい。患者さんの氏名が特定されないよう、イニシャルでお答えください。

患者さんの選定条件	
<input type="radio"/>	主治医が外来にて定期診療中で、訪問看護の指示を受けている患者
<input type="radio"/>	3か月以内に夜間休日臨時対応が発生した患者 ※1
※1 3か月以内に夜間休日臨時対応が発生した患者がいない場合は過去に遡って、対応の生じた患者をお選び下さい。	

氏名	姓のイニシャル () ・ 名のイニシャル ()
性別	男 ・ 女
生年月日	西暦()年()月

- 選定した患者さんの直近に生じた夜間休日臨時対応の日時と主訴について教えて下さい。()内に数字もしくは曜日をお書き下さい。

日にち	西暦()年()月()日()曜日
時間	(午前 ・ 午後) ()時頃
主訴	

- 上記情報を、クリーム色の患者様用アンケートにご記入の上、クリーム色の封筒に入れ、患者様宛てに郵送もしくは手渡しにてお渡しいただけると幸いです。

以上がお済みになりましたら、次ページ以降のアンケートにご回答をお願いいたします。

【ご記入上のお願い】

この度は、調査へのご協力を頂き誠にありがとうございます。
本調査では、夜間休日臨時対応の実際や体制、また、夜間休日臨時対応の負担感等について調査いたします。中には細かい内容の質問や似たような質問もありますが、おわかりになる範囲で結構ですので、最後までお答えいただくようお願いいたします。

- アンケートは全部で12ページで構成され、質問部分は全10ページになります(3ページ~12ページ)
- アンケートの回答にかかる時間は約20分です。
- この調査は、あらかじめ選定いただいた夜間休日臨時対応事例を実際に担当された医師・看護師および対象の患者様・ご家族様にご回答をお願いしています。
- アンケートのご記入が終了しましたら、同封の返信用封筒に入れて、1月30日(金)までにポストにご投函下さい。
- ご回答いただいたアンケートはID番号で厳重に管理します。ご回答にあたり、回答結果に関して個人的な情報が漏れることはございません。患者様・ご家族様や他の医師・看護師にもお伝えは致しませんので、今のご自分のお気持ちや状態を回答に反映ください。
- ご回答の方法：各質問の指示に従い、回答欄にご記入ください。下記の例をご参考にさせていただきます。

例1) あなたの現在の健康状態はいかがですか。

1 よい 2 **まあよい** 3 ふつう 4 あまりよくない 5 よくない

例2) あなたの年齢は何才ですか。 (48) 才

- ご記入いただく際に不明な点などがありましたら、連絡先までお気軽にお問い合わせください。

【本アンケート調査に関する連絡先】

東京大学医学部 在宅医療学拠点 吉江悟、野口麻衣子
〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学医学部附属病院 中央診療棟2 8階
電話・FAX: 03(5800)9542 Email: chem-info@umin.ac.jp

1. 1ページ目に記載の夜間休日臨時対応について振り返り、以下の質問にお答え下さい。

問1. 夜間・休日の臨時対応が発生した理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1. 状態急変 2. 事故 3. 患者の不安 4. 家族の不安 5. その他 ()

問2. 連絡をしてきたのは誰ですか。(1つに○)

1. 患者本人 2. 同居のご家族 3. 別居のご家族
4. ご近所の方 5. 看護師 6. その他 ()

問3. 連絡を受けた時、あなたはどこにいましたか。(1つに○)

1. 自宅 2. 診療所・事業所 3. その他 ()

問4. 連絡を受けた時、あなたはどのような対応をしましたか。なお、複数の対応が当てはまる場合は一番最初の対応をお答え下さい。(1つに○)

1. 電話で話して終了 2. すぐに医師が訪問 3. すぐに看護師が訪問
4. 朝まで待って医師が訪問 5. 朝まで待って看護師が訪問
6. すぐには行かなかったが朝より前に医師が訪問
7. すぐには行かなかったが朝より前に看護師が訪問
8. 訪問せずに病院への救急搬送を指示 9. その他 ()

(「2」もしくは「3」と答えた方に伺います。)

問4-1. すぐに訪問した理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1. 生命に関わる状態 2. 緊急処置が必要な状態
3. 疼痛コントロールが必要な状態 4. 本人の強い希望
5. 家族の強い希望 6. その他 ()

問5. 夜間休日臨時対応をしたその患者の転帰を教えてください。

1. 在宅療養継続 2. 救急搬送後外来受診で帰宅 3. 救急搬送後入院
4. 施設入所 5. 死亡 6. その他 ()

問6. その時の臨時対応は医学的見地から見て必要だったと思いますか。

1. はい 2. いいえ

問7. その際の対応方法以外に取り得た方法はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 電話で話して終了 2. すぐに医師が訪問 3. すぐに看護師が訪問
4. 朝まで待って医師が訪問 5. 朝まで待って看護師が訪問
6. すぐには行かなかったが朝より前に医師が訪問
7. すぐには行かなかったが朝より前に看護師が訪問
8. 訪問せずに病院への救急搬送を指示 9. その他 ()

2. 1ページ目に記載されている患者の夜間休日臨時対応に関する事前の取り決め等についてお伺いします。時と場合により異なる場合は、この患者の場合の主たるものに一つ○をつけて下さい。

問8. 1ページ目に記載の患者から夜間・休日の臨時連絡を受ける体制は事前に決めていましたか。

1. はい 2. いいえ → 問9へお進みください

問8-1. 「1. はい」と答えた方に伺います。

1) 患者・家族からの最初の連絡を受ける機関はどちらになりますか。

1. 診療所 2. 訪問看護ステーション 3. その他 ()

2) 患者・家族からの最初の連絡を受ける職種は多くの場合どなたですか。

1. 医師 2. 看護師 3. 事務スタッフ
4. その他 ()

3) 患者・家族からの最初の連絡を受けた方が判断に迷った場合の対応方法として最も当てはまるのはどちらですか。

1. 主治医へ連絡
2. 訪問看護ステーションの管理者へ連絡
3. 当直医へ連絡
4. 病院へ搬送する
5. その他 ()

問9. 1ページ目に記載の患者に夜間休日対応出来る看護師はあなたのご所属先(訪問看護ステーション)に何人いますか。

1. 複数人 2. 一人 3. 誰もいない → 問10へお進みください

問9-1. 「1. 複数人」と答えた方へお伺いします。

1) 夜間休日の臨時連絡を担当できる複数人の看護師とは、具体的に何人ですか。

- ()人
うち、非常勤看護師 ()人
うち、夜間休日の臨時対応だけを行う非常勤看護師 ()人

2) 夜間休日の臨時連絡対応を担当する看護師間で、夜間休日当番の順番はどのように回っていますか。おおよその目安をお答え下さい。

1. 1日毎 2. 2-3日毎 3. 4-6日毎 4. 1週間毎 5. 2週間毎
6. 1ヶ月毎 7. 特に決めていない 8. その他 ()

問10. 1ページ目に記載の患者の夜間休日の臨時連絡担当をご所属先以外の機関と取り決めをしていますか。

1. はい 2. いいえ → 問11へお進みください

問10-1. 「1. はい」と答えた方へお伺いします。

1) 夜間休日臨時対応について取り決めをしている機関の種別を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 診療所 2. 病院 3. 訪問看護ステーション 4. その他 ()

2) ご所属先以外の機関との取り決めはどのようにされていますか。(1つに○)

1. 特定の機関(別法人)と契約し、夜間休日対応を完全に依頼している
 2. 特定の機関(別法人)と契約し、夜間休日対応の一部を依頼している
 3. 同一法人の一事業所が、夜間休日の対応を全てすることになっている
 4. 同一法人の一事業所が、夜間休日対応の一部をすることになっている
 5. 複数機関の看護師で輪番制を採って夜間休日の対応をすることになっている
 6. その他 ()

3) ご所属先以外の機関との夜間休日臨時対応の順番の回し方を教えてください。毎回順番の回し方が異なる場合は、だいたいを目安をお答え下さい。(1つに○)

1. 1日毎 2. 2-3日毎 3. 4-6日毎 4. 1週間毎
 5. 2週間毎 6. 1ヶ月毎 7. 全てお願いしている
 8. 特に決めていない 9. 年末年始・出張時など限られたときだけ依頼
 10. その他 ()

問11. 普段から夜間や緊急時の連絡方法について患者・家族へ伝えていましたか。

1. はい 2. いいえ

問12. 普段から予測される状態とその対応方法について患者・家族へ伝えていましたか。

1. はい 2. いいえ → 問13へお進みください

問12-1. 「1. はい」と答えた方へお伺いします。

1) どの職種が説明していましたか。 1. 医師 2. 看護師 3. その他 ()

2) 説明に対して患者ご自身はどの程度理解していましたか。(1つに○)

1. 全く理解していなかった 2. あまり理解していなかった
 3. どちらともいえない 4. よく理解していた 5. とてもよく理解していた

3) 説明に対してご家族はどの程度理解していましたか。(1つに○)

1. 全く理解していなかった 2. あまり理解していなかった
 3. どちらともいえない 4. よく理解していた 5. とてもよく理解していた

3. 1ページ目に記載の患者について教えてください

問13. 性別	1. 男 2. 女	問14. 年齢	満 () 才
問15. 主疾患名	1. 悪性腫瘍 2. 認知症 3. 脳血管疾患 4. 心不全 5. 難病 6. その他 ()		
問16. 処置特性 (当てはまるもの全てに○)	1. 点滴の管理 2. 中心静脈栄養 3. 透析 4. ストーマの処置 5. 酸素療法 6. レスピレーター 7. 疼痛の管理 8. 気管切開の処置 9. 経管栄養 10. モニター測定 11. 褥瘡の処置 12. カテーテル		
問17. 要介護度	1. なし 2. 要支援1 3. 要支援2 4. 要介護1 5. 要介護2 6. 要介護3 7. 要介護4 8. 要介護5		
問18. 世帯構成	1. 配偶者(パートナー)と二人世帯 2. 一人暮らし 3. 未婚の子供と同居 4. 既婚の子供世帯と同居 5. その他 ()		
問19. 訪問看護開始時期	() 年 () 月		
問20. 過去3ヶ月で夜間休日の臨時対応を行った回数をお答え下さい。 ※1日に複数回の対応を行った場合は1回とお答え下さい。	() 回		

4. これ以降の設定では、1ページ目に記載の患者に限定せず、あなたのご所属先で普段行われている夜間休日臨時対応の体制についてお伺いします。患者毎に対応が異なると存じますので、最も一般的な対応体制についてお答え下さい。

問21. あなたのご所属先では、夜間休日の連絡・対応が可能な体制をとっていますか。

1. 連絡・対応体制をとっている 2. 連絡は受けるが、夜間休日の訪問はしていない 3. 連絡・対応体制はとっていない

↓ ↓ ↓
↓ ↓ ↓
8ページ問31へお進みください

問22. 直近3ヶ月で夜間休日に患者・家族からの電話等による連絡を受けた件数を教えてください。

約 () 回

問23. 前問で答えた夜間休日臨時対応の連絡への対応方法の内訳(概数で結構です)を教えてください。空欄の場合は0(ゼロ)とみなします。

1) 電話のみ	() 回	2) すぐに医師が訪問	() 回
3) すぐに看護師が訪問	() 回	4) すぐには行かなかったが朝より前に医師が訪問	() 回
5) すぐには行かなかったが朝より前に看護師が訪問	() 回	6) 朝まで待って医師が訪問	() 回
7) 朝まで待って看護師が訪問	() 回	8) 病院への救急搬送を指示	() 回
9) その他 ()	() 回		() 回

問24. ご所属先の夜間休日臨時対応方針について教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1. なるべく電話のみで対応する 2. 要望を受けたらすぐに訪問する
3. 気になったらすぐ訪問する 4. 気になったら病院への搬送を指示する
5. その他 ()

問25. 患者・家族からの連絡を最初に受ける(ファーストコール)体制について教えてください。
患者毎に異なる場合は、最も多くの患者に対してとっている体制をお答え下さい。

問25-1. ファーストコールを受けるのはどの機関ですか。(1つに○)

1. 診療所 2. 訪問看護ステーション 3. その他 ()

問25-2. ファーストコールを取るのはどの職種ですか。(1つに○)

1. 医師 2. 看護師 3. 事務スタッフ 4. その他 ()

問25-3. 判断に迷った場合のバックアップ体制はどのようになっていますか。(1つに○)

1. 管理者へ連絡 2. 主治医へ連絡 3. なし
4. 主担当の看護師へ連絡 5. その他 ()

問26. ご所属先の夜間休日臨時対応の対応体制について教えてください。

問26-1. ご所属先で夜間休日臨時対応の連絡対応をしている看護師は何人ですか。

1. 複人数 2. 一人 → 問27へお進みください



問26-1-1. 「1. 複人数」と答えた方へお伺いします。

1) 夜間休日の臨時対応を担当している看護師は何人ですか。

- () 人
うち、非常勤看護師 () 人
うち、夜間休日の臨時対応だけを行う非常勤看護師 () 人

2) 夜間休日の臨時対応を担当する看護師間で、夜間休日当番の順番はどのように回していますか。おおよその目安をお答え下さい。

1. 1日毎 2. 2-3日毎 3. 4-6日毎 4. 1週間毎 5. 2週間毎
6. 1ヶ月毎 7. 特に決めていない 8. その他 ()

問27. ご所属先以外の機関との夜間休日臨時対応の対応に関する連携体制について教えてください。

問27-1. 所属先以外と夜間休日臨時対応に関する取り決めをしていますか。

1. はい 2. いいえ → 問28へお進みください



問27-1-1. 「1. はい」と答えた方へお伺いします。

1) 夜間休日臨時対応の取り決めをしているご所属先以外の機関は何ヶ所ですか。

- () ヶ所

2) 夜間休日臨時対応について取り決めをしている機関の種別を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 診療所 2. 病院 3. 訪問看護ステーション 4. その他 ()

3) ご所属先以外の機関との夜間休日臨時対応の取り決めはどうされていますか。

1. 特定の機関(別法人)と契約し、夜間休日対応を完全に依頼している
2. 特定の機関(別法人)と契約し、夜間休日対応の一部を依頼している
3. 同一法人の一事業所が、夜間休日の対応を全てすることになっている
4. 同一法人の一事業所が、夜間休日対応の一部をすることになっている
5. 複数機関の看護師で輪番制を採って夜間休日の対応をすることになっている
6. その他 ()

4) ご所属先以外の医療機関との夜間休日臨時対応の順番の回し方を教えてください。
毎回順番の回し方が異なる場合は、だいたいの目安をお答え下さい。(1つに○)

1. 1日 2. 2-3日 3. 4-6日 4. 1週間
5. 2週間 6. 1ヶ月 7. 全てお願いしている
8. 特に決めていない 9. 年末年始・出張時など限られたときだけ依頼
10. その他 ()

問28. 夜間休日臨時対応の対応当番の際にご所属先へどれくらいで到着する場所にいることが多いですか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 15分未満 2. 30分未満 3. 60分未満 4. 90分未満
5. 120分未満 6. 120分以上

問29. あなたが夜間休日臨時対応の当番の際には、どこにすることが最も多いですか。

1. 自宅 2. 所属先 3. その他 ()

問30. 夜間休日臨時対応の対応当番の日にお酒を飲むことがありますか。

1. 普段からお酒を飲まない 2. 普段は飲むが、当番の日には飲まない
3. ときにたしなむ程度は飲む(その日はタクシー等で対応)
4. その他 ()

問31. 普段から、夜間や緊急時の連絡方法について患者・家族へ伝えていますか。

1. はい 2. いいえ



問31-1. だいたいどれくらいの時間で患者宅に到着できると説明していますか。

1. 15分未満 2. 30分未満 3. 60分未満 4. 90分未満
5. 120分未満 6. 120分以上

問32. 普段から予測される状態とその対応方法について患者・家族へ伝えていますか。

1. はい 2. いいえ



問32-1. どの職種が説明していますか。 1. 医師 2. 看護師 3. その他

問36. 仕事や現在の夜間休日臨時対応体制の今後についてどのように考えているか教えてください。(各質問に対して○は1つ)

	全くあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらでもない	そのとおりである	全くそのとおりである
1) 現在の仕事について満足している	1	2	3	4	5
2) 現在の仕事をそのまま続けたいと思う	1	2	3	4	5
3) 現在の夜間休日の臨時対応体制を続けたいと思う	1	2	3	4	5
4) 現在の夜間休日の臨時対応体制を継続することは可能だと思う	1	2	3	4	5
5) 夜間休日の臨時対応により翌日以降の業務に悪影響を与える	1	2	3	4	5
6) 私の仕事は身体的に負担が大きい	1	2	3	4	5
7) 私の仕事は精神的に負担が大きい	1	2	3	4	5

問37. 近ごろ次のような症状がありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. このごろ全身がだるい	2. 腰が重い
3. 目が疲れる	4. よく肩がこる
5. 胃腸の調子がわるい	6. しばしば目まいがする
7. このところ頭が重い	8. 風邪をひきやすい
9. 疲れやすい	10. このところ寝つきがよくない
11. 根気が続かない	12. 自分の好きなことでもやる気がしない
13. 頭がさえない	14. イライラすることが多い
15. ささいなことが気になる	16. 心配ごとが多い
17. 気が散ることが多い	18. 生活にはりあいを感しない

7. ご所属先についてお伺いします。

7-1. 人員・体制

問38. 看護師数(実人数)	()人	問39. 看護師数(常勤換算数)	()人
問40. 事務職員数(常勤換算数)	()人		
問41. 開設主体はどちらですか。			
1. 地方公共団体 2. 社会福祉法人 3. 医療法人 4. 社団・財団法人 5. 協同組合 6. 営利法人(会社) 7. NPO 8. その他			
問42. 併設している施設・事業所はありますか。(あてはまるもの全てに○)			
1. 居宅介護支援事業所 2. 訪問介護事業所 3. 病院 4. 有床診療所 5. 無床診療所 6. 該当なし			
問43. 所属先にあてはまる番号に○をつけて下さい。			
1. 機能強化型訪問看護ステーション1 2. 機能強化型訪問看護ステーション2 3. 機能強化型以外のステーション 4. 病院や診療所内のみなしステーション			
問47. ご所属先における夜間休日の待機等の手当の状況(概ねの額)を教えてください。			
夜間: 基本手当: ()円/一晚 + ()円/臨時訪問1回 休日: 基本手当: ()円/日中 + ()円/臨時訪問1回			

7-2. 加算算定状況・利用者数

24時間体制	問44. 24時間連絡体制加算は算定していますか?	1. はい 2. いいえ
	問45. 24時間対応体制加算は算定していますか?	1. はい 2. いいえ
介護保険の対象者	問46. 過去3ヶ月の介護保険の利用者数(月平均)	()人
	問46-1. そのうち、緊急訪問の回数(月平均)	約()回/月
	問46-2. そのうち、早朝・夜間の訪問回数(月平均)	約()回/月
医療保険の対象者	問47. 過去3ヶ月の医療保険の利用者数(月平均)	()人
	問47-1. そのうち、緊急訪問の回数(月平均)	約()回/月
	問47-2. そのうち、早朝・夜間の訪問回数(月平均)	約()回/月
問48. 過去3ヶ月のターミナルケアの対象者数(月平均)	介護保険(ターミナルケア療養費)	()人
	医療保険(ターミナルケア加算)	()人

8. 最後にあなたご自身について教えてください。

問53. 看護師としての経験年数	()年	問54. 訪問看護の経験年数	()年
問55. 職位	1. 管理者/責任者 2. スタッフ看護師 4. その他		
問56. 性別	1. 男 2. 女	問57. 年齢	()才
問58. 配偶者の有無	1. 有 2. 無	問59. 子供の有無	1. 有 2. 無
問60. あなたがご家庭で主たる担当として担っている役割を教えてください。(あてはまるもの全てに○)			
1. 子育て 2. 介護 3. 炊事 4. 洗濯 5. 掃除 6. その他			
問62. お住まいの場所から職場に行くまでの普段使っている交通手段での所要時間を教えてください。(○は1つ)			
1. 5分未満 2. 15分未満 3. 30分未満 4. 1時間未満 5. 1時間以上			
問63. 昨年一年間の収入額について教えてください。(○は1つ)			
1. 300万円未満 2. 400万円未満 3. 500万円未満 4. 600万円未満 5. 700万円未満 6. 700万円以上			

9. その他、夜間や休日の連絡に対するご意見・ご要望をご自由にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。記入漏れはありませんでしょうか、今一度ご確認下さい。
同封の返信用封筒でご返信下さいますようお願いいたします。